

SENZOKU ストリングオーケストラ

2020年12月12日(土) 19:00開演(18:30開場)

洗足学園音楽大学 前田ホール

～プログラム～

J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV1041

Johann Sebastian Bach : Violin Concert No.1 in A minor, BWV.1041

I. (Allegro) II. Andante III. Allegro assai

Solo Violin : フェデリコ・アゴスティーニ

J.S.バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV 1043

Johann Sebastian Bach : Concerto for Two Violins in D minor BWV1043

I. Vivace II. Largo ma non tanto III. Allegro

Solo Violin : フェデリコ・アゴスティーニ / 水野 佐知香

A. ドヴォルザーク：弦楽セレナーデ ホ長調 作品 22

Antonin Dvorak : Serenade in E Major, Op. 22

I. Moderato II. Tempo di valse III. Scherzo (Vivace)

IV. Larghetto V. Finale (Allegro vivace)

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

■曲目解説

J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV1041

バッハのヴァイオリン協奏曲が3曲あるうちのひとつ。

バッハを支持していた、レオポルト公爵より依頼を受けて作曲された。

彼は公爵家の宮廷楽長も務めた。公爵自らもヴァイオリン、チェンバロを弾くこともあり、若い頃からの付き合いでもあった。のちにチェンバロ協奏曲にも編曲される。

《allegro—andante—allegro assai》とヴィヴァルディの確立した『緩—急—緩』の協奏曲の原理に基づいている。

(Vn 鈴木 光菜)

J.S.バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV 1043

音楽界の偉大なる創始者、バッハ(1685~1750)は器楽曲を多く手掛けてきたがその中でもこの曲を含むヴァイオリン独奏曲は代表的なものである。一連の作品はバッハがレオポルト公の宮廷楽団の楽長としてケーテンに滞在していた5~6年の間の作品である。

この協奏曲は、「急—緩—急」の三楽章よりなるバッハの器楽曲の中でも最も特徴のある楽曲のうちの一つである。二つの独奏ヴァイオリンが同じ主題動機を対話的に展開し、フーガによる構成で全楽章を作っている。第二ヴァイオリンの勢いのある総奏で始まり、跳躍する大胆なパッセージが独奏される第一楽章から、美しい線のような旋律で一貫された第二楽章にうつり、二つのヴァイオリンが追いかけるような緊張感のある第三楽章で締め括る。

(学部2年 Vn 早川 萌音)

A.ドヴォルザーク：弦楽セレナーデ ホ長調 作品22

ドヴォルザークが33歳の時に作られた作品である。交響曲などで知られるドヴォルザーク。今回はそんな彼の弦楽の響きを味わっていただきたい。

第1楽章 Moderato

低弦楽器が奏でるホ長調の響きの中にヴァイオリンが甘く美しい歌を奏でる。

第2楽章 Tempo di Valse

多彩な感情を持つ美しいワルツ。

第3楽章 Scherzo

快活で楽しげな曲

第4楽章 Larghetto

緩楽章にあたりとても穏やかな曲。

第5楽章 Allegro vivace

締めくくりにはふさわしい決然とした終楽章。最後に曲頭のモチーフが現れ懐かしいさを感じさせそのまま華やかなコーダ(終結部)で曲を締めくくる。

(Va 山下 智史)

■メンバー

コンサートマスター

小野 英駿 宍戸 育実

ヴァイオリン

成瀬 流奈	盛田 真央	安部 誼美	池原 志穂	木村 菜穂
鎌 弘美 <small>カマノノブ</small>	篠崎 愛	松本 志絃音	山本 里真	秋友 龍馬
井上 海燦	宇津木 遥花	早川 萌音	久本 奈海	頼近 友莉奈
勝部 小夏	小林 真子	佐々木 郁子	島村 佳奈	鈴木 光菜
鶴田 翔	松村 歩美	三谷 月菜	宮崎 莉子	菅野 稚子*
高橋 沙織*	成田 叶*	濱 萌香*		

ヴィオラ

加藤 可奈子	工藤 海青	榎本 知香	山下 智史	米倉 海陽
齋藤 亜花羽	宮島 麻歩	大森 陸 リチャード*	山口 亜純*	

チェロ

牧志 一音	羽川 真介 [♪]	山本 祐ノ介 [♪]	大友 美侑 [♯]	加賀谷 ひなた [♯]
鈴木 岳 [♯]	鈴木 黎子 [♯]	田口 裕 [♯]		

コントラバス

榎 さわ	吉田 智海*	小林 稜 [♯]	前山 みなも [♯]	本橋 和樹 [♯]
當仲 絵理 [♪]				

チェンバロ

上蘭 未佳[♪]

オンライン

日向 加奈子	中川 綾音	伊藤 令華	川勝 颯斗	宇根 由利子
--------	-------	-------	-------	--------

*…大学院生

♪…本学教員

♯…演奏補助要員

企画・運営責任者 水野 佐知香 (Violin)

指導教員

Violin	川田 知子	中 一乃	沼田 園子	吉村 知子
Viola	安藤 裕子	井野邊 大輔	大野 かおる	
Cello	羽川 真介	藤村 俊介		
Contrabass	黒木 岩寿	今野 京		

■プロフィール

フェデリコ・アゴスティーニ

イタリアのトリエステ生まれ。音楽家の家庭に育ち、6歳の時祖父からヴァイオリンの手ほどきを受けた。トリエステとヴェネツィアの音楽院、さらにシエナのキジアナ音楽院で学び、サルバトーレ・アッカルドや叔父にあたるフランコ・グッリらに師事した。16歳でカルロ・ゼッキの指揮のもと、モーツァルトの協奏曲を弾いてデビュー。数多くのコンクールに優勝・入賞し、国際的に輝かしい活動を開始する。I Virtuosi di Romaに在籍後、1986年からは伝説的なイタリアの合奏団、「イ・ムジチ」のコンサートマスターを務める。そのかわり、ソリストとして世界有数のホールに登場、また1987年からローマ・フォーレピアノ五重奏団のメンバーとしても活躍した。ヨーロッパ、アメリカ、日本など、世界各地の国際音楽祭に参加。室内楽奏者として、ブルーノ・ジュランナ、ジェイミー・ラレド、練木繁夫、ジョゼフ・シルバーシュタイン、ヤーノシュ・シュタルケル、堤剛、渡邊康雄、アメリカ四重奏団、エマーソン四重奏団、ファインアーツ四重奏団、東京四重奏団、ガールネリ四重奏団などと共演している。2004年にアミーチ四重奏団を結成。川崎洋介（オタワ・国立芸術アーツ管弦楽団のコンサートマスター）、ジェームス・クライツ（元アカデミカ四重奏団メンバー）、原田禎夫（元東京四重奏団メンバー）と世界中で成功を収めている。CDは、フィリップスより、バッハとヴィヴァルディの協奏曲（「四季」を含めた）、クラベスより、フォーレのピアノ四重奏、最近では、ライブノーツより、小品集を出している。ヴィヴァルディの四季は、美しいヴェネツィアで撮影されたDVDも出ている。トリエステとヴェネツィアの音楽院で教えた後、ドイツ・トロツィンゲン音楽大学で10年間、アメリカ・インディアナ大学教授を10年務めた。指導者としても定評があり、日本、スウェーデン、イタリア、メキシコ、オーストラリア、香港などでマスタークラスを開催している他、各地の音楽祭に招聘されている。2012年8月より、ニューヨーク州イーストマン音楽院の教授。愛知県立芸術大学音楽学部客員教授。2018年4月より洗足学園音楽大学客員教授。昨年より日本在住。

水野 佐知香

4才よりヴァイオリンを鈴木メソッドで始める。愛知県立明和高等学校音楽科、東京藝術大学卒業。日本音楽コンクール、東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝、ヴィエニアフスキ国際コンクール入賞。海外派遣コンクール 松下賞受賞。学生時代よりコンサート活動を始め、国内外のオーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、ゲストコンサートマスター、コンサートの企画、音楽祭出演等の他、フランス、アメリカ、台湾、中国、ドイツなど国内外でのリサイタル、マスタークラスにも招聘され好評を得ている。2013年、2016年にウクライナで開催されたオレグ・クリサ国際ヴァイオリンコンクールなど、国内外のコンクールの国内外のコンクールの審査員も務め教育者としての信頼も厚く、コンクール入賞者など多くの逸材を輩出している。10数枚のCDをリリースし、新作初演も多い。最近では、オレグ・クリサ氏とのバッハの2つのヴァイオリンのための協奏曲のCDは、レコード芸術などで絶賛されている。純正律音楽研究会からリリースされた、お琴とハープとのCDも好評を得ている。玉木宏樹氏、山本祐之介氏作曲、編曲作品の8冊に及ぶヴァイオリンデュオの楽譜の校訂・監修も手がける。20年続くヴィルトゥオーゾ横浜（弦楽合奏団）では、代表として、コンサートマスターとしての重責を担う。2017年には、ベートーヴェンのソナタ全曲演奏会を東京と大阪で開催。2018年には、電子オルガン、マリンパとの共演CDリリース。2019年には、20年ぶりにヴァイオリンデュオ曲集が再版され、新しく6冊になり、注目されている。現在、洗足学園音楽大学・大学院主任教授。ヴィルトゥオーゾ横浜代表。横浜音楽文化協会会長。NPO法人純正律音楽研究会代表。2012年度横浜文化賞2014年度愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。本日は、ストリングオーケストラ授業責任者として最後のコンサートとなります。